

岩手



豊かに生きる

こころよく



岩手県盛岡市

特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

岩手の環境をよりよいものとし 未来世代に贈る

岩手県内のさまざまな団体と連携、パートナーシップを構築し、持続的発展が可能な循環型社会の実現に寄与しています。また、コンプライアンスを遵守し、環境保全、環境教育にかかわる業務の運営・活動に取り組んでいます。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について

上: ポットに海浜植物の種を蒔く
下左: 大学の先生による海浜植物の講義 下中: 松林の雑草とり作業
下右: 大学の先生が作業手順を説明する

〒020-0124 岩手県盛岡市厨川5-8-6
電話 019-681-1904
FAX 019-681-1906
E-mail kanpai@utopia.ocn.ne.jp
URL <http://www.iwate-eco.jp/>



活動紹介

根浜海岸林再生事業



海岸清掃後の集合写真



海浜植物保護のための杭打ち作業

プロジェクト概要

東日本大震災により海岸防災林が大きな被害を受けた岩手県釜石市根浜海岸では、再生に向けた活動が盛んです。岩手県立大学、岩手県沿岸広域振興局、釜石市、地元企業、環境保全団体、環境教育団体等が協議を重ね、再生事業に取り組んできました。中でも釜石市の将来を担う地元の中学生が、この事業に取り組む意義は大きいです。海岸防災林を復活させるためには、根元を覆う海浜植物の植生を健全に保たなければなりません。ハマヒルガオ、ハマナス、ハマエンドウ等の種子を育て、これを移植し、雑草を抜き、同時に海岸清掃も行います。地域が一体となった環境保全活動です。中学1年生の時に携わった生徒たちは、その後事業を引き継ぐ後輩たちに地元の根浜海岸の大切さを伝えています。

ESD実践のポイント

海浜植物再生のため地元の中学生を対象に大学の先生による植物の講義に始まり、種子を蒔く作業、ポットに土を入れ種を蒔く作業、苗に育った植物を海岸林の根元に移植する作業、同時に雑草を抜き、周辺の海岸清掃も行います。1年をかけて幾度となく根浜海岸に足を運び、地元の大人たちも協力して中学生の活動を見守っています。植物の知識やノウハウを持った人たちの支援と協力で海岸林を育て、守る活動が継続されています。中心となって動くのが地元の中学生であることの意義は大きいです。

担当者からのメッセージ

東日本大震災当時1歳・2歳だった彼らが、中学生となり根浜海岸林再生事業に取り組む姿は感慨深いです。先輩たちが卒業した後は、後輩たちが事業を引き継いでいます。海岸清掃活動にも積極的に取り組み、綺麗な砂浜が保たれています。大震災で浜辺の9割を失った根浜海岸ですが、地域の人たちの協力で海開きができるまでになりました。さらに素敵な場所にしようとする子どもたちの想いに感動します。生徒たちの成長を見守り、一緒に活動を続け、本事業の意義を広げていきたいです。



スタッフ 坂下 慶夏さん